

第334回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成29年1月30日(月)午後4時30分より
- 2 開催場所 新潟グランドホテル 会議室
- 3 委員総数 9人 出席委員 9人

出席委員

| | | | |
|-------|-----|-------|------|
| 豊口 協 | 委員長 | 大矢 純一 | 副委員長 |
| 山本 健一 | 委員 | 春日 貴光 | 委員 |
| 碓井 真史 | 委員 | 原田 健一 | 委員 |
| 大久保千春 | 委員 | 田村 明子 | 委員 |
| 尾畑留美子 | 委員 | | |

会社側出席者

| | |
|--------------------|-------|
| 代表取締役会長 | 室川 治久 |
| 代表取締役社長 | 務台 昭彦 |
| 常務取締役 編成担当 | 須佐 博樹 |
| 取締役報道制作局長 | 平野 真一 |
| 執行役員編成局長兼番組審議会事務局長 | 稲田 裕之 |
| 報道制作局制作部長 | 羽田 朗 |
| 報道制作局報道部長 | 竹野 和治 |
| 事務局 | 山崎 学 |
| | 水野 明子 |
| | 吉田康宏 |

4 議 題

1) 番組合評

「社員は芸妓 ～つなげ古町花柳界の伝統～」

[放送：平成 28 年 12 月 30 日（金）9:00-9:30]

（説明：番組プロデューサー 竹野和治）

2) 会社報告

① 11月・12月の視聴者の意見（報告：番組審議会事務局）

② 講じた措置、公表など定例報告等（報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

会社側からは、衰退傾向にある全国の花柳界で、新潟で30年前に芸妓など伝統文化を継承する意図で立ち上った、全国初の芸妓養成会社「柳都振興」が新人芸妓の採用に苦勞している中、昨年夏に高校生の採用活動を取材する機会が出来た。その取材内容から過去の映像などを使って番組化することにした。新人芸妓の採用を通じて古町花柳界の現状を伝えるべく取り組み、30分の番組として制作した、という説明があった。

（委員の意見）

- 今回の番組で「柳都振興」の活動を詳しく知ることが出来た。古町芸妓の歴史・人手不足・花街の衰退という視点で見たが、「対人から対モノ」という登場人物の言葉に若者の価値観の変化を感じた。これは決して他人事ではなく、新潟全体の問題であると思う。
- 新人たちがその後、どのように成長したか続編が見てみたい。

- 番組タイトルが面白く、興味を持って見た。時期的にも年末というタイミングでの放送は良かった。
- 番組冒頭は芸妓文化とアイドル文化という切り口の番組と思っていたが、実は芸妓採用に焦点をあてた内容であり、その点は意識をしなければならない課題ではあるが、テーマとしては暗い感じがした。採用活動についての苦労話だけでなく、視聴者に夢を与えられる内容でも見てみたかった。この番組をきっかけに若い人達に芸妓をよく知ってもらう機会になれば良いと思った。
- 3～4回繰り返し見た。面白かった。登場人物に魅力があった。特に採用面接後のシーンは何度見ても泣きそうになる程引き込まれた、
- 伝統文化をつなげていくという意味では、単に「踊り」だけでなく、芸妓の持つ文化という側面も掘り下げた方が良かったのではないか。
- 「新潟の伝統とは何か」ということをどれだけ切り込めるか、また、女性の世界に男性ディレクターがどれだけ踏み込めるかを見ていたが、もう少しであったと感じた。難しいことであることは承知しているが、もっと迫って欲しかった。
- 内容が濃く、盛り沢山であったことで、説明が多く必要だったことからすれば、内容を絞るか60分の番組にすれば良かったのではないか。
- 軽く楽しい番組として見始めたが、結果真剣に見られた番組で、楽しい感じで濃い話を考えながら見ることが出来た。
- 古町芸妓を知らない視聴者からしたらこのような題材を取り上げたことには意義を感じた。

- ドキュメンタリー番組としては良かった。長期間に渡って取材をし続けて欲しい。
- 芸妓の辛さ、やりがいなどを伝えるコメントがもう少しあってもよかった。古町芸妓の歴史的背景をしっかりと説明するべきであったと思う。
- よく出来ていたが、古町芸妓を知っている者からすれば知らない人たちへの説明が不足しているのではないかと感じた。
- 地方局が取り上げるテーマとしては最良のコンテンツであると思った。
- 映像も美しく、一般の視聴者に古町花柳界の現状をブレることなく伝えていたのではないか。気持ちよく、楽しく見ることが出来た。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

1 1月 …… 87件

1 2月 …… 69件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成28年11月28日)から昨日(平成29年1月29日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

- 1) 前回第333回審議会では、「ゲキハク! ~新潟の冒険者たち~」を審議いただきました。
委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第 334 回放送番組審議会の公表

- 1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。
- 2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。
- 3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 11 月・12 月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 民間放送新聞（12/3、13、23、1/3、23 号）
- ・ BPO 報告 NO.169、170

以上